

参加申込みは、お名前、ご所属、連絡先を記入し下記へ(参加費無料)

(メール) jshw-sympo@bunken.co.jp (FAX) 03-3368-2822

問い合わせ先は(株)国際文献印刷社内 水文・水資源学会事務局 TEL: 03-5389-6208



水文・水資源学会
市民との交流シンポジウム

水の循環と人間のかかわり



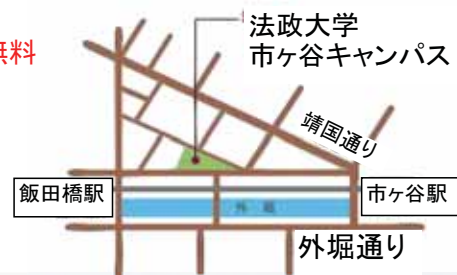
地球温暖化時代を生き抜くための知恵

温暖化・災害激化に直面する今、地球生態系の水循環や
治水・利水の歴史について、市民とともに考える！

日時：2010年9月11日(土) 10:00～17:00 (9:30開場) **参加費無料**

会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 **さった** 薩埵ホール

JR・地下鉄 市ヶ谷駅・飯田橋駅中間、JR沿い徒歩10分



プログラム

水はどのように地球上をめぐっているのか ---- 10:05-12:20

- ・地球の気候における水循環の役割 (名古屋大学教授 安成 哲三)
- ・水循環における森林など生態系の役割 (京都大学教授 谷 誠)
- ・流域水循環における地下水の役割 (筑波大学シニアアドバイザー 田中 正)

人間は水とどのように付き合ってきたのか ---- 13:30-15:45

- ・利根川流域の治水 ~現状と課題~ (東京大学名誉教授 虫明 功臣)
- ・農業における水利用の歴史 (筑波大学教授 佐藤 政良)
- ・都市と水資源 ~東京を例に~ (芝浦工業大学教授 守田 優)

パネルディスカッション ---- 16:00-16:55

司会：青山 佳世 (フリーアナウンサー)

砂田 憲吾 (山梨大学教授、水文・水資源学会長)



青山佳世
アナウンサー



砂田憲吾
学会長

主催：水文・水資源学会

後援：国土交通省、農林水産省、東京都、国連大学サステナビリティと平和研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター、サントリーホールディングス株式会社

水の循環と人間のかかわり

～ 地球温暖化時代を生き抜くための知恵 ～

主催： 水文・水資源学会

後援： 国土交通省、農林水産省、林野庁、国連大学サステイナビリティと平和研究所、
水災害・リスクマネジメント国際センター、サントリーホールディングス株式会社

開催趣旨

わたしたちはいま、温暖化による地球規模での環境劣化や災害激化に直面しており、これには水循環の変化が大きくかかわっています。雨水は生態系を通過して河川水や地下水となり、農地や都市で使われながら海へ流れてゆきます。この水循環が科学的にどのように理解されてきたのか、最近どのように変化してきているのかを正しく知ることが、環境・災害を考える上で欠かせなくなっているのです。人間はまた、水のめぐみを受けて暮らす一方、水不足や水害を避けるたいへんな努力を営々と続けてきました。今後の水循環変化の影響に備えるには、水と戦い、貴重な水資源を確保してきた治水・利水の歴史やその現状を学ぶことも重要であることは言うまでもありません。

しかし、こうした「水の循環と人間のかかわり」について、必ずしも正しく伝えられては来なかったと考えています。水の問題は利害関係者のあいだで合意を得ることが難しいですが、少なくとも科学的知識を共有しておくことが、話し合いを実りあるものにするために、大切なことだといえましょう。

そこで、水文・水資源学会では、設立以来 20 年にわたって積み上げてきた水に関する学際的な研究成果をふまえ、水問題を考えるために欠かせない知識を、未解明な問題も整理した上で、できるだけ正確に市民の皆様にも率直にお伝えするシンポジウムを企画いたしました。青山佳世アナウンサーにはいただき、市民の目線を重視したパネルディスカッションも行います。

水問題に関心をお持ちの多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

申し込み FAX 03-3368-2822

水文・水資源学会事務局

	お名前 (ふりがな)	ご所属 (もしくはご住所)	連絡先 (e-mail か FAX 等)
1	ふりがな		e-mail / FAX
2	ふりがな		e-mail / FAX
3	ふりがな		e-mail / FAX
4	ふりがな		e-mail / FAX

※ 多数の参加の場合には、上表の内容を e-mail 《 jshw-sympo@bunken.co.jp 》あるいは別紙に記入し FAX 《 03-3368-2822 》でお申込み下さい。

※ 会場で当日申込みも受付ける予定です。(事前の申込み者数の状況によります。)